



# CERRESA

NO.179

特集 郷土に残る農の昔話

15  
地域と共に年

あす  
絆でつなく輝く未来へ

<http://www.jaceresa.or.jp/>

セラサ  
8

2012.August

昭和21年、開拓民として渡っていた満州から帰国後、それまでの野菜生産から、酪農へ転身。さらに宅地が急増した昭和60年代には不動産業へと、時代の要請に応じながら、

それぞれの分野で地域の先頭に立って走り続けてきました。

現在は息子さんに事業を任せ、ご自身は町内会など主に地域のための役職に力を尽くしています。中でも平成15年に多摩区防犯協会の会長に就任してからは、防犯活動に最も力を注いでいます。

「以前、多摩区で小学生が犯罪に巻き込まれる事件があった時に、子どもたちの身の安全を守らなければと、強い気持ちで湧きました」。その思いに突き動かされ、区内の自治会やPTAと連携をとり、下校時の校

門での注意の呼びかけや、防犯ベストの配布など、防犯活動の先頭に立って奮闘しました。

そうした努力が認められ、平成22年には晴れて藍綬褒章受

## ■ ひゅうまん

# 防犯活動で褒章受賞

多摩区長 沢 関口 鐘雪さん



賞の荣誉に輝きました。「皇居での式典で陛下にお言葉をいただいたことは忘れられません」。その感動を胸に、更に防犯活動に力を尽くしています。

## contents

### 特集

郷土に残る農の昔話	3
川崎探検隊 桜本・大島をあるく	8
Pick Up	10
逸 あこがれの田舎暮らし 宮前区 小竹 清子さん	14
パワー全開 宮前区 持田 容伸さん	16
食&農 トウモロコシ	17
インフォメーション	22

## 今月の表紙

### 梅の土用干し

宮前区犬蔵の横山隆行さんと紀恵子さんは、梅干し2トンを漬けて込む生産者。梅ジャムやブルーベリージャムなどと一緒にセレサモスに出荷しています。

表紙は、梅干し作りに欠かせない「土用干し」。6月に収穫して塩漬けた梅を、庭先で3日3晩天日干しします。朝夕には、梅の干し具合を見ながら、1個ずつ裏返して味を決めます。



# 郷土に残る農の昔話



現代でも農作業はその年の天候や病害虫の発生によって大きな打撃を受けることがあります。人の力だけが頼りで技術も未発達だった昔の農村では、そうした被害はさらに過酷なものでした。そのため、天災や病気など、さまざまな困難に直面したとき、人は神や仏に祈り、また先祖から伝えられたしきたりや言い伝えを守りぬくことで、災いを回避しようとしてきました。他者から見るとそれは単なる迷信と思えたとしても、当事者にとってそれは生活に密着した自然な行いであったのです。

今号では、そうした家を守るために代々伝えられてきたしきたりや、人知の及ばない出来事の話をも、4人の方にお聞きしました。

# 権六谷戸のトウモロコシ

## 今も生きる権六の思い

宮前区野川 安齊 久男さん

昔々のこと。戦国時代、今の野川のあたりで激しい合戦がありました。ある日のこと、一人の武将が20人ほどの家来と共に、ある谷戸へ落ちのびてきました。彼らが逃げる途中に通りかかったモロコシ畑から、数百本の槍を立てて襲って来た伏兵によって、多くの家来を失ってしまったそうです。心優しい村人たちは傷ついた武士たちを村にかくまいました。何年かするうちに、武士の家来たちは少しずつこの地を去り、やがて一人残った武将も武士を捨て、権六と名乗って農民として暮らすようになりしました。

ある日、権六は丘の上から谷戸の畑へ降りるときに、「はっ」と目を見張りました。「伏兵じゃ！」権六は畑の中に何百もの槍が並んでいるのを見つけ、大慌てで家に戻り、村人にその話をする、「あれは槍ではなく、ただのモロコシの茎ですよ」と笑われてしまいました。権六は「わしも年を取り臆病になったものじゃ」とため息をつきました。それから権六は、モロコシ畑には決して近づかず、「亡くなった家来の供養のために」と生涯モロコシを作らない決心をしたということです。

この話は宮前区野川の権六谷戸と呼ばれる谷戸に伝わる昔話です。ここに出てくる権六は、谷戸の旧家、安齊(または安齋)姓の家の共通の先祖と言われています。権六谷戸で古くから農業を行っている安齊久男さんによれば、今も安齊姓の家では、権六の遺志を継ぎ、どここの家もトウモロコシを作らないそうです。

「昔ある安齊家でトウモロコシを作った人がいたそうですが、家に災難が起こってすぐにやめたそうです」。また最近では、権六谷戸の畑を市民農園として貸し出した家があったのですが、どうも家族の調子がよくない。そこで調べたら、その畑でトウモロコシを育てている人がいたそうです。その人は直ぐに事情を話して他の作物に変えてもらったそうです。

「権六谷戸の農家でも安齊姓でない家ではトウモロコシを作ってもなにも起こりません。安齊家の畑に限った事なのです」。しかし安齊家でもトウモロコシ

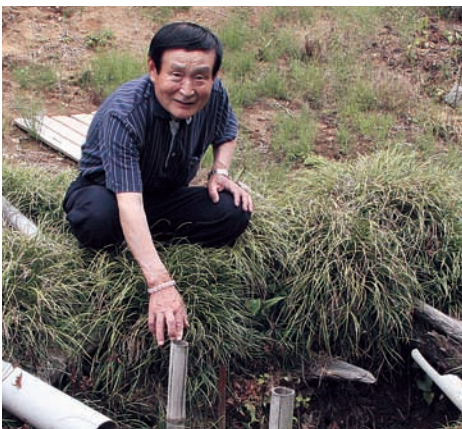
を食べてはいけないというわけはありません。野川では、安齊家でトウモロコシが作れないことは広く知られているので、色々な人からトウモロコシをいただくそうです。

権六谷戸も開発が進んで、谷戸の風情も少なくなっていますが、安齊さんのお宅は谷戸の一番奥。家の裏手の畑では清水が湧き、サワガニやカワニナが住んでいます。「権六の言い伝えだけでなく、この無くなりつつある谷戸の風景も、いつまでも後世に伝えてゆきたい」と話しています。

トウモロコシを作らないという決めごととは、権六谷戸の安齊家に限った習わしですが、一方で、大勢の住民によって永く続けられている習わしもあります。



現在の権六谷戸



清水が湧く安齊さんの裏庭



谷戸の入口には災の進入を防ぐ神様が祀られています

# 祖先から受け継いだ祈りの風習

その昔、農村では日照りが続くと、思うように田に水を引くことが出来ず、溜池や用水路に残された僅かな水を巡って争いごとまで起りました。あまりに雨が降らないときには村人は天を仰いで溜息をついたものです。そうした時には、もはや神仏に頼るしか無く、相模の大山へお祈りに出かけました。そのときには、村の代表のものが水垢離※みずごりをして身を清め、白装束※しろくまに身を包み、「六根清浄※ろくこんせいじやう」と唱えながら山を登ったのでした。

## 毎年行う神社への代参

多摩区登戸 小泉 要さん

御嶽講などの講※こうが続けられているところは市内にも多くあります。

多摩区登戸の台和地区では、古くから伝わっている様々な風習が、今も生活の一部として欠かせないものとなっています。

台和地区でナシ園を経営する小泉要さんは、昨年亡くなった父親が永く御嶽、大山、榛名講の講元（講中の世話役）を引き受けていたこともあって、引き続き講元の職を担っています。講中の人員は現在20人以上。年に1回は代表者数名で、三か所の神社へ御神酒を奉納に行きます。これは代参と言

って、御嶽は盗難避けになるオオカミの護符を、大山は雨乞い、榛名へは風避けの護符をもらいに行きます。代参者は毎年初午の日（2月上旬）に台和の会館で、くじ引きによって決められます。

「今ではどこも車で行くことが多いのですが、父の話では、大山の場合は昭和30年頃まで、徒歩で出かけていたようです。」

代参は3人程のグループで行い、一人2升の酒を携え、早朝に出発すれば、夜には大山の麓の宿坊に

着いたとのこと。

「7月の暑い時期に行くのですが、暑が過ぎます。ですから酒好きの人たちが集まったりすると、到着するまでに、1升飲み干してしまつた」などと言うこともあったそうです。代参は神事と言うだけでなく、レクリエーションの意味合いもあつたのです。

台風やひょう害などの天災は水田に深刻な被害をもたらしました。普通の年なら代参も物見遊山気分だつたでしょうが、天災のあつた年には神様にすがり気持もひとしおだつたことでしょう。

小泉さんは「こうした昔からの風習によって、仲間同士の信頼を深められれば、続けている意義も大きい」と、10年に一度は親睦も兼ね、講中全員で神社に神楽を奉納に行くそうです。

このように、講は目に見えぬ神仏に救済を求める人の結びつきの

事ですが、人は時に、不思議な力を持つ行者や僧侶に直接救いを求める事も多くありました。

※水垢離  
神仏に祈願する前に冷水を浴びて身を清めること。

※六根清浄  
人間の欲の根源は眼耳鼻舌身から感じる五感と第六感の意（心）持ちから来るとされ、それらを清らかな状態に保つよう念じる言葉。「どっこいしょ」の語源とも言われる。

※講  
同じ信仰を持つ近所の仲間、講中が皆で資金を積み立て、年に1回代表者、或いは全員で神社やお寺にお参りに行く組織。江戸時代には富士講や伊勢講など幾つもの講が生まれました。



代参を決めるくじ引きの棒を持つ小泉さん



オオカミの護符



くじ引きの会場に設けられた神棚

# 病気を治した行者の話

昔々、丸子あたりの多摩川沿いに神社があつてそこに偉い行者様がおりました。その行者は不思議な術が使える、その術で病気を治すと言うことで知られていました。昔は医者も少なく、人は病気になるとそうした人を頼って相談に行きました。

ある時、一人の村人が病気になり、家族が心配してその行者に見てもらふことにしました。

行者は寝ている村人の横に座り、小さな竹筒を取り出しました。瞬間、何かが病人の手に飛び移りま



河原昶さん(長年丹精した柿、太秋の畑で)

した。よく見るとそれはとつても小さな狐でした。その行者は小さな狐を使って病人の悪いところを取らせていたのです。病人はその後すつかり元気になり、狐使いの行者はそれから多くの人の病気を治したそうです。(平間の狐使いの話)

## 祖父の不思議な力

高津区宇奈根 河原 昶さん

特別な力を持った偉人の話は昔から様々な地域で語られてきました。医療の発達してない時代にあってはこうした不思議な力も、現実のものとして生活のなかに、当たり前のように溶け込んでいたようです。

高津区宇奈根の河原昶さんの祖父の幸太郎さんは、農業の傍ら、自宅敷地内にあつた富士浅間神社の神主を勤め、富士講を組織していました。幸太郎さんは、大勢の講中の人たちから強い靈感があると言われ、大先生と呼ばれ慕われていたそうです。「昭和15年頃のこ

とです。ある人が行方不明になっている家族の安否を訪ねて来たことがありました」。

その時、幸太郎さんは「その人は今伊豆大島にいますが無事です」と話し、しばらく家で待つようにと諭して帰りました。後日、その人が「先生の言うとおり、伊豆大島で無事に見つかりました」とお礼にやって来たときには、本当に驚いたそうです。

「祖父は相談に来る人たちから金銭の支払いを求めることは決してしなかつたので、家族の暮らし

向きは質素で、祖父の神主の衣装もボロボロでした」。

戦後、幸太郎さんが亡くなり、神社の建物も今はありません。河原さんは祖父の事跡を後世に残すため、残された資料の整理を始めています。

このように不思議な力で救われた話は、この他にも市内に幾つか伝わっています。また、農村では救いと感謝は古くから祭りの形で続けられています。新嘗祭にいなめさいと呼ばれる神事もそうした豊穰とよゆきを感謝する祭りの一つです。



河原さんの祖父が結成した講中が富士山頂で祈願をした写真と、それを伝える新聞の切り抜き(昭和13年)

# 新嘗祭に選ばれたお米の話

昔々、川崎の地にはどこの村でも一面の田んぼが広がっていました。米は命の綱。米を作ることには村人にとって一番大事なことでした。虫を避け、風を避け、病気にならないよう丹精込めて米を育てあげました。そのため、どこの村でも秋の収穫の時には、それはそれは盛大なお祭りでも、お祝いしたものです。

秋の新嘗祭にいしなまつりの日は、日本中から特別に選ばれた新米が皇居に集め



※新嘗祭 新米を神に捧げ、農作物の恵みに感謝する皇室の祭祀。

られ、宮中で神前に捧げられました。新嘗祭に自分の米が選ばれるのは、農家にとって大変な栄誉だったのです。

## 白山古墳と献上米

幸区南加瀬 高橋 シツさん

幸区南加瀬の高橋シツさんが、都筑の佐江戸から加瀬に嫁いできたのは昭和32年。今でこそビルや住宅が建ち並ぶ南加瀬地区ですが、その頃は、遠くまで見渡せるほど田んぼが広がっていました。かつて、南加瀬でも有数の米生産農家の一軒だった高橋家には、新嘗祭の時に新米を献上した歴史があります。「これは父から聞いた話なのですが、昭和8年に皇室にお米を献上する栄誉に預かったことがあったそうです」。

ある日宮内省(現在の宮内庁)から突然連絡があつて、宮中で行われる新嘗祭の為の新米を献上するように言われました。これには家族一同皆驚いたそうです。

その年、田んぼには献上田と書



畑に立つ高橋シツさん。裏手は一部残った白山古墳

かれた杭が打たれ、田植えや稲刈りなどの時は、神主さんが来てお祓いも行われました。収穫した米は、一粒一粒吟味し、ピンセットで形の良いものを、より分けて献上したそうです。とにかく、神聖な事なので、宮内省からは、色々な注意事項を示され、家族は皆神経を使いました。とくに、家の裏山は白山古墳と呼ばれる古墳だったので、「墓に手を付けると穢れるので、こうしたことに選ばれた上は、裏山に手を付けないように」と言われたそうです。

この日以来、高橋さんの家では宮内省の方から言われたことを忠実に守り、献上が済んだ後も家訓として敷地内の白山古墳には、何

があつても手を付けず、そのまま後の世まで残すと決め、永くそれを守ってきました。今では白山古墳のほとんどは崩されてしまいましたが、これからも家訓を守り、敷地内の白山古墳はそのままにする決意をしています。

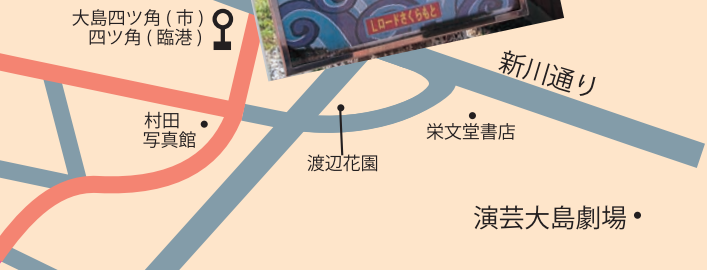
今回は、4人の方々に昔話を聞いていただきましたが、風習や習慣、伝えられた物語はこのほかにも、様々な形で、今もあちこちに生き続けています。時代の流れとともに、農家の暮らし向きも、急速に変わってきました。しかしこうした物語を語り継ぐことは、それを生み出した生活の基盤である農業と、それを支える自然環境を守るためにも大切なことだと思えます。



かつての高橋家の様子



◀七福神じゃなくて、九福神!?  
どんな神なのかなあ〜



今回は、川崎区桜本と大島を街歩き。この辺りは、在日韓国人の方が多く住む地域で、韓国関連のお店をちらほらと見かけます。

中でも、ロードさくらもとの愛称で親しまれている桜本商店街には、約30件ほどの韓国関連のお店が点在しています。韓国人や在日の方が経営するお店などもあり、本場の味から日本人好みの味まで幅広く楽しめることができそうです。また、煉瓦の舗装がしてあり自転車や人

が行き交いやすい道になっているのが魅力的。この他、路地には、木造の古い作りの建物もあるなど、昭和の雰囲気も楽しめます。

全盛期と比べると人通りも少なくなってしまうようですが、街に賑わいを呼び戻そうと九福神を作ったり、地域住民を巻き込んだイベントに力を入れるなど様々な対策を行う桜本商店街。昭和時代を思わせるレトロな建物や異国のお店が混在し、魅力たっぷり。

この通りを抜けて桜川公園へ。親子連れが多く、地域住民の憩いの場として賑わっていました。ベンチもあるので、ちょっと一息の休憩にオススメです。

最後に、ちょっと足を伸ばして大島劇場へ。川崎にも下町を感じさせる場所があったのかと驚き、新しい発見に喜びを感じました。

土地柄や地域特有の文化、お店を変わずに残し続けている街の散策を、みなさんもぜひお楽しみください。

## ちょっと足をのばして



大島劇場  
川崎市内に唯一残った大衆演劇場。梅沢富美男氏をはじめ、数多くの下町の人気者を世に送り出した場所です



## 地域活性化に力を入れる商店街

桜本は、坂本九さんが子どもの頃に住んでいた街。「上を向いて歩こう」というメッセージを込めて、七福神に上向き小僧・商店街のシンボル福招き猫を加えて、商店街の復興策として九福神を設置。この他、歩道をバリアフリーに改修するなど、歩いて暮らせる街として人に優しい商店街作りに取り組んでいます。桜本商店街に九福神が点在しているので、街を歩きながら見つけてみてください



坂本九にちなんだ像  
上向き小僧



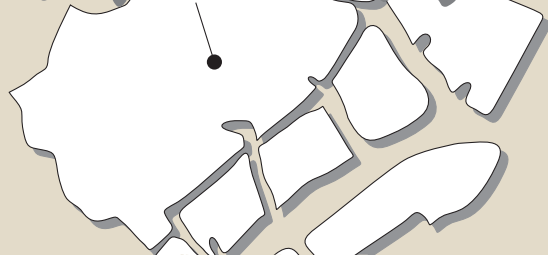
◀商店街のシンボル  
福招き猫

## 感じさせる建物





# 桜本・大島



桜本・大島は川崎区の北部に位置し、工場、商店、一般住宅などが混在する地域。桜本は浜町のセメント通りとともにコリアタウンの一角を成す。中心となる桜本商店街はコリアタウンの台所と呼ばれ、韓国料理の惣菜を扱う店が多い。昭和の時代は人波で溢れるほど人気の商店街であったが、大規模工場の移転などでかつての賑わいも無くなりつつある。



① 韓国食品専門店カナダ食品  
広い店内には漬物や乾物など  
韓国食材がズラリ



② 韓国食品専門店麻布食品

## 桜川公園



◀ 公園に置かれている路面電車  
昭和19年に開通し、川崎  
駅東口から京浜急行塩浜  
駅までの6.95kmを走って  
いた路面電車です。工業  
化の波に乗った働く人々  
の通勤経路などとして重  
宝されていました。しかし、  
自動車の普及により、昭  
和44年に廃止となりその  
役目を終えました

暑い日差しが照る中、▶  
じゃぶじゃぶ池で涼を  
楽しむ子どもたちの姿  
を見かけました



## 昭和の雰囲気



## ひまわり会の集い 歌と笑いを満喫

セレサひまわり会の集いが7月9日を皮切りに27日まで、3会場で8公演行われ、約5,400人超の会員が歌と笑いの演芸ショーを楽しみました。

ひまわり会はJAで年金を受け取っている会員を対象に、集いへの招待や会報誌の発行など、さまざまな特典を設けています。

今年の演芸ショーは、東玉助さんの漫談と新曲「演歌じゃないか」で、12年ぶりに再デビューを果たした祭小春さんの歌謡ショー。パーソナリティーとして絶大な人気を誇る上方落語家の笑福亭鶴光さんがトリを務め、ウイットに富んだ巧妙な語りにユーモアを交えて、会場を笑いの渦に包み込みました。



客席で熱唱する祭小春さん

## 県ナシ現地研究会 県内生産者150人が参加

平成24年度県ナシ現地研究会が7月17日、川崎市内のナシ園と農業技術支援センター、JA本店を会場に県内のナシ生産者150人が参加して行われました。

今年度の研修は、増加傾向にあるナシ萎縮病対策や産地維持対策などが中心。毎年、県内ナシ生産者の技術向上と直面する問題への対策を目的に、県内産地の持ち回りで行われています。

参加者は、多摩区中野島のナシ生産者 田村忠蔵さんのほ場を見学後、川崎市農業技術支援センターで、市内のナシ生産の現況を確認。続いて、会場をJA本店に移し、「更新時期を迎えたナシ栽培の確立」をテーマに研究会が行われました。初めに、ナシ萎縮病の現状と改植の課題と題して、千葉県農林総合技術センターの塩田あずき研究員による基調講演が行われました。最後の意見交換では、「川崎のナシ農家では後継者が増えているのはなぜか」との質問に、田村さんが「生産緑地制度の効果」、「親が楽しそうに作業しているから」とユーモアを交えて答えていました。



ユーモアを交えて答える田村忠蔵さん

## 体力測定で自分の体力を知る



片足をあげてバランスを取る参加者

健康大学の開校式が7月23日、本店セレサホール飛翔で行われました。

健康大学は健康寿命100歳プロジェクトの一環として、組合員や女性部員とその家族、助け合い組織の会員を対象に開校しているもので、269人が応募。毎月1回ずつ計5回、エクササイズ

や料理実習などを行います。

第1回目の授業は、自分の体力を知ろうと「かながわ健康財団」の高垣茂子氏を迎えて、歩行・握力・バランスの体力測定を行い、自分の体力を客観的に見つめ直し、体力維持に欠かせない手足の簡単な動きを、懐かしい歌に合わせて覚えました。

## 健康福祉・農政対策の委員会開く

平成24年度の健康管理・福祉対策推進委員会が7月26日、本店で行われました。

委員会は、理事会専門部会と支部長協議会の正副会長、女性部・業態別・目的別組織会長と役員などで構成。委員会では23年度の活動報告、24年度の活動計画と現状報告が行われ、県厚生連と中央会から報告事項にそって県下の現状が比較説明されました。

最後にJA全中の今井準幸氏が「健康寿命100歳プロジェクト」への取り組み事例や方向

性について講演を行いました。

続いて、平成24年度の農政対策委員会が行われ、23年度の活動報告、24年度の活動計画が報告され、県中央会から都市計画制度や相続税などの現状と今後の改定の見通しなどの説明があり、TPPの最新情勢が報告されました。

その報告を受けて東京大学教授の鈴木宣弘氏を講師に「TPPの情勢について」と題する研修が行われ、TPP交渉参加阻止に向け、強い決意を持って臨むことを誓いました。



健康寿命を伸ばすことが大切と話す今井準幸氏



TPPの危険性を力強く説く鈴木宣弘氏

## おしゃべりコンサートでクラシックを楽しむ

毎年恒例となっている宮前フィルハーモニー交響楽団によるJAセレサ川崎クラシックコンサートが7月21日の土曜日、本店セレサホール飛翔で開催されました。

今回は、おしゃべりコンサートと題し、曲や楽器にまつわる様々な逸話を交えた、楽しいコンサートが展開されました。



客席の間近で行われた迫力ある演奏

## 担い手支援で栽培講習会

JAでは農家の担い手支援の一環として、果樹栽培講習会を、7月9日と10日の両日、川崎市農業技術支援センターで開催し、2日間で約100人の参加者が集まりました。

今回講習が行われた果樹はミカン、イチジク、カキ、ブルーベリー、キウイフルーツの5品目。

JAの技術顧問と農業技術支援センターの職員が講師となり、センター内で育成している果樹を



ブルーベリーの栽培講習の様子

使い、それぞれの果樹の特徴から、ポイントとなる剪定の仕方、防除の方法などの実地講習を行いました。

## 農産加工セミナー基礎とフォローアップで全8回

加工品づくりの基礎や経営のノウハウを学ぶ、農産加工セミナーの開校式が7月23日、本店で行われました。

このセミナーはより多くの人にセレスモスへ加工品を出荷してもらおうと開かれているもので、今年度は9人が受講。

カリキュラムは初心者向けの講座が全5回、過去3年間にセミナーに参加した受講生を対象にしたフォローアップ講座を、全3回開催する予定です。

第1回目は、県農業技術センター木下洋子氏を講師に、加工の基礎概論について講義が行われました。講義終了後、受講生は「瓶・缶詰の熱処理について知りたい」などと質問し、加工品づくりへの意欲を見せていました。



熱心に講義を聞く受講生

## 地産地消フェア新鮮野菜を求めて大賑わい

第2回かわさき地産地消フェアが7月8日、阿部川崎市長を迎えて、川崎地下街アゼリアのサンライト広場で開かれました。

会場では野菜の即売が行われ、市内の直売グループがトマトやキュウリ、ナスなどの市内産野菜と産みたてタマゴを持ち込み、ふるさとの生活技術指導士の会がジャムやハーブピネガーなどの加工品を販売しました。

同時に夏季農産物品評会が行われ、トマトやキュウリなど173点の農産物が審査され、審査終了後に即売されました。また、東日本大震災で被災した福島県の物産品も販売され、被災地を支援。休日を楽しむ多くの市民が、新鮮で美味しい市内産農畜産物を求めて会場に詰めかけました。

たくさんの野菜を買い求めた川崎区の主婦は、「市内で、こんなに多くの野菜が作られていることを知りませんでした」と、驚いたように話していました。



173点の野菜が審査されました 多くの市民が新鮮な市内産野菜を求めていました

## 異彩キュウリまつり



子どもや主婦にキュウリが配られた

川崎市内でも異彩を放つ「キュウリまつり」が7月4日、幸区小倉の小倉神社境内で行われ、1,400本のキュウリが子どもや主婦に配られました。

この祭りは、毎年7月4日に行われ、キュウリをつくってはいけないと伝わる小倉地区の農家に、収穫を

迎えたキュウリを差し上げたのが始まりとか。今年は、台風の影響で値が高く、本数が減りましたが、夕飯の支度前に、1人2本ずつ700人に配られました。

境内には露店も並び、町会ごとに七夕飾りも準備され、地域の子どもの楽しみになっています。

## 女性部座談会10月まで11支部で実施

女性部支部座談会が、7月13日の生田支部と柿生支部を皮切りに、10月まで11支部で実施されます。

座談会は女性部員とJA役員が膝を突き合わせて、率直に意見を交わし、新たな組織活性化策と支援について、具体的な対策を見つけようと、取り組んでいるものです。

昨年の支部座談会の成果を踏まえて、今年度は、女性部11支部を対象に実施しています。

皮切りになった生田支部では、部員から「女性部未加入

の正組合員宅へのJA側からのアプローチをお願いしたい」「支店新築に合わせて調理室の充実をはかってほしい」など、組織強化に向けた具体的な提案が出されました。JAからは「積立金を使って親睦をはかり、次世代対策を講じてもらいたい」など、積立金の有効活用など、具体的な説明がありました。

他の会場でも地域の実情に合わせた具体的な問題点も話され、新たな展開がはかられています。



JA役員と女性部員が膝を合わせて意見を交わす



和やかに意見を交わす部員たち

## 宮前メロン 今年の出来を絶賛

出荷の最盛期を迎えた7月9日、生産者を代表して野川の井上國夫さんが本店を訪れ、柴原組合長にメロンを贈り、今年の出来映えを披露しました。試食した組合長は「美味しい」と絶賛していました。

今年は宮前区誕生30周年にあたり「宮前メロン」がキャラクターになった「宮前兄弟」が人気になっています。



柴原組合長へメロンを贈る井上國夫さん

## 宮内小の学習集会 野菜づくり名人参上

市立宮内小学校の2年生164人は7月9日、生活学習授業の一環として、地域の野菜づくり名人から野菜について学習しました。

宮内地区の組合員8人からなる野菜づくり名人は、児童たちにミニトマト、ナス、エダマメ、ピーマンの苗の植え付けを指導。その野菜が収穫時期を迎えて、今まで観察してきた疑問をまとめ、「野菜のことを知りたい」と題した生活学習集会を開きました。集会に参加した名人は「トマトの実はどうして出来るの」、



たくさんの質問に答える野菜づくり名人

「野菜ができるまで何日かかるの」などの質問に、丁寧に答えていました。



# 逸

ITSU

私の好きなこと

## あこがれの田舎暮らし

東京生まれの小竹さん。子どもの頃には父親の出身地の会津に遊びに行くのが楽しみでした。「田舎の風景が好きで、『大人になったら農家に嫁に行く』と、父や母に話していました」。しかし現実はなかなかそうも行かず、都会での忙しい日々が続きました。

そうした中でも田舎での生活へのあこがれは消えず、いつかは現実のものにしたいと密かに思い続けていました。

転機となったのは平成19年。長男が成長し、家の仕事を任せられるようになった事から、自分のた



めの時間も多く取れるようになりました。そんな時に耳にしたのが民家園でのボランティア募集の話。古民家での、囲炉裏やかまどの火入れ、部屋の掃除など、田舎暮らしをそのまま再現する仕事内容に「かつて憧れた田舎の生活の一端が味わえるのではないか」とすぐに応募しました。

文化財相手の仕事ですから、火の元や器物の取り扱いなど、気を遣う事も多いようですが、「古民家にいると気持ちが安らぎ、来園者との会話も楽しい」と充実した活動を続けています。

### PROFILE

昭和43年結婚と同時に菅生に新居を構える。仕事から身を引いた、平成20年から日本民家園でボランティアを開始。



宮前区菅生  
小竹清子さん



〜安らぎの杜を訪ねて〜

まちの鎮守  
八幡大神

将門ゆかりの  
歴史ある鎮守

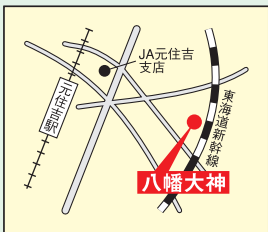
所在地 中原区荻宿134  
 創建年代 不詳  
ほんだわけのみこと おおやまののみこと  
 祭神 荻田別命 大山咋命  
 例大祭 8月第4日曜日  
 交通 東横線元住吉駅から徒歩13分

神奈川県神社庁に登録されている神社を紹介しています。

その昔、平将門がこの地を通ったときに、一夜の宿を借りたといわれから、カリヤドと呼ばれるようになったとの言い伝えがあります。八幡大神のご神体は、金龍石と呼ばれる丸石で、詳細は伝わっていませんが、将門ゆかりの品とされています。

関東大震災のときには社殿が倒壊してしまいましたが、荻宿の民家には全く被害が無く、八幡様が身代わりになってくれたと言われ、神社への尊敬がさらに増したそうです。

現在の社殿は昭和26年に再建されたものです。



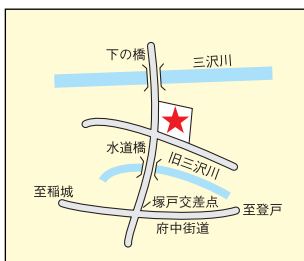
## がんばる都市農業

多摩区菅馬場 上原 清治さん  
歌子さん

自宅から離れた柿畑の一角に直売所を設け、朝取りして荷作りされた野菜が並びます。人通りの多い道沿いだけに、自転車で訪れる常連さんが多く、朝から賑やかです。

トマトは早い時間に売り切れ、その他にキュウリやナス、チンゲンサイなどの野菜も「美味しい」と好評です。春先には自家製の野菜苗も並び、園芸ファンが持ちわびています。秋には、贈答用の柿が人気で、全量を直売しています。

店番する歌子さんは名前のおりが得意。老人会の月2回のカラオケを楽しみにしています。



販売方法：対面販売が基本ですが、一時無人にもなる  
 販売日：3日に1回のペースで、次回のオープン日を告示する  
 販売時間：9:00～売り切れるまで(お昼ごろまで)  
 単価：野菜は100円



サラリーマン時代、いつかは「父の後を継ぎ、農業に従事したい」と漠然と思っただけは「はいました」。しかしそれは好きな仕事で自分なりの成果を上げた後と決めていました。そうした中、結婚後、子どもが生まれると、父からあらためて就農の話を受け、自分への期待の大きさに驚きました。「息子としてその期待に応えたい」。その時熱い思いがわき上がるのを感じ、決意が固まりました。

## 『地域の仲間を支えられ 農業をスタート』

宮前区東有馬 持田 容伸よしのぶさん

身に付けなければならぬ事の多さに焦りを持っていたスタート時。大きな支えとなったのは、宮前三行会の仲間たちでした。「地域の農業者と全く面識が無かったので、三行会に誘われたことは

高齡の父親に変わり、自ら中心となって作業をするようになりました。当時三行会仲間では東京の市場へ出荷している農家が多く、持田さんも試しに東京の市場へ出荷したところ、なかなか良い値がつくこともあって

徐々に軸足を東京へと移していきました。そうした中、作付けもそれまでのホウレンソウ中心から東京の市場で人気の高いコマツナへと移行するなど、父親の真似から始めた農作業から一変。今ではしっかりと自分の考えで作業を進めています。

「農業は一朝一夕で身につくものではないですね。父が早く就農させたがったのも今ならうなずけます。人一倍の働き者の父にとこまで近づけるか分かりませんが、いつか父を超えるのが目標」。これからが本当の勝負。そう決意し新たな一歩を踏み出しています。



「妻にとってサラリーマンに嫁ぐのと、農業者に嫁ぐのでは気持ちの面でかなり違いがあったでしょう。早めに脱サラしたことで、今はいろいろと負担をかけていると思います。夫を信じてついてきてくれる妻に、感謝の気持ちを抱きながら仕事に励んでいます。







イネ科トウモロコシ属の淡色野菜で、アメリカ大陸が原産。乾燥コーンは、米、麦と並ぶ世界三大穀物の一つです。購入の際は、皮が濃い緑色で先端まで実がよく詰まり、隙間のないものがオススメです。収穫して1日経過すると甘みが半減するほど鮮度が落ちやすいので、茹でてラップなどで包んで冷蔵庫で保存しましょう。また、蒸すか固めに茹でた後、粒をほぐして冷凍しておくとしょろもや炒め物にする時に便利です。

丸かじりができ、手軽に食べられるトウモロコシは、夏には、かかせない食材として、好まれている野菜の一つです。

現在日本で栽培されているほとんども、焼いたり、蒸したりなど野菜として食べている完熟前のスイートコーン種です。この他に、加工用品種としてデンプリン質が多く、モチモチとしたフリントコーン種、熱すると粒の中央部の軟質デンプリンが急激に膨張し破裂するポップコーン種、飼料や加工用のデントコーン種などがあります。

そんなトウモロコシは、夏バテしやすい時期に役立つ栄養素が豊富に含まれています。スイートコーン種は、穀物野菜としての要素を持ち合わせているため、糖質・タンパク質・脂質といった三大栄養素があるほか、疲労回復に役立つアスパラギン酸や夏バテ回復に役立つビタミンB群も含まれています。

暑い日が続くと、冷たいデザートばかり食べてしまい、ビタミンB群が不足してしまいがち。そんな時、様々な栄養素を含んだトウモロコシは、最適な食材と言えます。

調理も簡単なので、おやつやおつまみに取り入れて、夏野菜を堪能しましょう。

## トウモロコシライス

材料(2人分)

- ・塩茹でしたトウモロコシ…1/2本
- ・醤油…適量
- ・バター…適量
- ・塩、コショウ…少々
- ・ご飯…2杯分

作り方

- ①フライパンをあたためて、火を止める。そこにバターを入れて溶かす。
- ②火を付け、そこにバラバラにしたトウモロコシを入れる。少し炒めて、温かいご飯を入れる。
- ③更に、パラパラになるように炒める。そこに、醤油、塩、コショウを加える。味を調えたら出来上がり。



## コマツナ、チンゲンサイ、カブの白さび病

アブラナ科野菜の葉に発生する病気ですが、特にコマツナ、チンゲンサイ、カブでの被害が大きく、営農相談コーナーにおける相談件数が多い病害虫の一つです。



### 【被害の様子】

春の4~5月と、秋の10~11月に発病します。葉裏に白色の小さな斑点が生じ、次第に拡大しながら盛り上がった病斑になります(写真1、2)。病斑部の葉表は、不鮮明な黄色い斑紋状になります(写真3)。コマツナ、チンゲンサイ、カブでは病斑が非常に目立ちますから、商品価値が著しく落ちます。

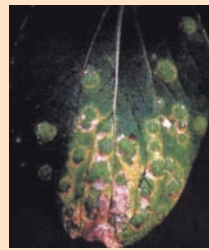
ダイコンでは、白さび病菌が根頭部に感染すると、茶褐色のリング状病斑(写真4)が生じます(ワッカ症、UFOと呼ばれます)。



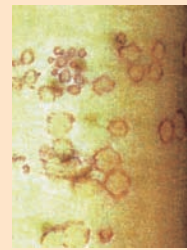
▲写真1



▲写真2



▲写真3



▲写真4

### 【病原菌の特徴】

被害葉などの罹病残渣の中で越冬、越夏した病原菌が発生源になります。病斑上には多数の分生子(病原菌のタネ)を作ります。これが伝染源となり、風雨により飛び散り伝染し、新たな病斑が発生し、風雨の度に、感染・発病を繰り返していきます。蔓延のスピードが非常に速いのが特徴です。7、8月の盛夏期には発生しません。

### 【防除のポイント】

- ・発病株は、早く除去し、収穫後の残渣はしっかりと始末します。
- ・殺菌剤による防除

#### ◇コマツナ、チンゲンサイ、カブに使用できる殺菌剤◇

- ・リドミル粒剤2 10kg/10a(但し、チンゲンサイは9kg、播種前は全面土壌混和)
- ・ランマンフロアブル 2,000倍(3日前・3回)
- ・アミスター20フロアブル 2,000倍(7日前・2回)
- ・ジーファイン水和剤 1,000倍(前日・一)

#### ◇白さび病に強い品種の利用◇

- ・コマツナ：わかみ、きよすみ、はっけい
- ・カブ：ゆきわらし

※JAでは、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。病害虫被害の場合は、被害作物もご持参くださると助かります。開催日は22ページをご参照ください。

◆お焚き上げ供養と人形供養祭◆

思いが込められたもの、魂が宿るとされているものに、これまでの礼を尽くし、浄火によって天界へ還す・・・その行いを「お焚き上げ」と言います。

例えば、故人が普段寝ていた布団など、葬儀後の取り扱いにお困りになられたご遺族も少なくありません。また、葬儀は無事に済ませたものの、これらの遺品の処理を粗末にしては心残りになるのも当然と言えます。そこで、最後の最後まで、きちんとお送りしたいと願う遺族のために「お焚き上げ」供養を提案しております。布団だけでなく、衣料品や愛用品だったものなども僧侶の読経で「お焚き上げ」することで、心残りなくお見送りできたと安堵されることと思います。

こうした遺品とは別に、お子様の成長とともに取り扱いに苦慮されているものに日本人形やぬいぐるみなどがあります。とりわけ思い入れも深く、安易な処分に抵抗があるようです。

このことから近年、JA葬祭では人形供養祭を企画、実施しております。地域の皆様の反響も大きく、1,000体から2,000体もの人形が持ち寄られ、僧侶や神官の厳粛な供養の後に、お焚き上げされる安堵感に好感をいただいているようです。そこでこのたび、JAセレサ葬祭センターにおいても人形供養祭を下記の日程で開催することになりました。一般参加も歓迎ですので、ぜひご来場ください。

(セレササービス株式会社)

- ◆供養祭 9月17日(月)12:00~12:30 当日持込受付 10:00~11:30まで  
事前持込受付日9月15日(土)、16日(日) 受付時間 10:00~16:00まで  
◆場所 JAセレサ梶ヶ谷ビル(高津区梶ヶ谷2-1-7)



9月の運勢

モナ・カサンドラ

おひつじ座 3/21~4/19

【全体運】神経質になりやすいので、適度なリラックスを。ハーブティーや野菜を多く使った食事が気力回復に効果的【健康運】冷房による風邪に注意【幸運を呼ぶ食べ物】サツマイモ

おうし座 4/20~5/20

【全体運】前向きな気持ちになり、何事にも果敢にトライできる月。遊びには気軽に参加すると刺激あり【健康運】疲れをため込まないよう、十分な休息を【幸運を呼ぶ食べ物】インゲン

ふたご座 5/21~6/21

【全体運】すぐにイライラしてしまう気配。身近な人に横柄な態度を取らないように。趣味で気分転換を【健康運】無理はしないで何事もほどほどがベスト【幸運を呼ぶ食べ物】シメジ

かに座 6/22~7/22

【全体運】好奇心が刺激され、色々挑戦したくなる月。興味のある習い事や趣味をスタートさせるチャンス【健康運】体調良好。アクティブに行動できるはず【幸運を呼ぶ食べ物】イクラ

しし座 7/23~8/22

【全体運】和やかな気分で過ごせます。仕事を片づけた後は好きな事を楽しんで。喫茶店に行くのも◎【健康運】いつもリラックスを心掛ければ好結果に【幸運を呼ぶ食べ物】トウガン

おとめ座 8/23~9/22

【全体運】長所が周りに伝わり、みんなから慕われる時期。面倒見の良さを発揮して。未経験のチャレンジも大吉【健康運】軽く体を動かすことで体調に好影響【幸運を呼ぶ食べ物】クリ

てんびん座 9/23~10/23

【全体運】自分らしさを大切にすることで周囲のサポートに恵まれるはず。近くの温泉に出掛けると吉【健康運】暴飲暴食に注意。軽い運動がオススメ【幸運を呼ぶ食べ物】マイタケ

さそり座 10/24~11/22

【全体運】人脈を広げている期間。飲み会や食事会などの集まりには気軽に参加して。サークル活動も幸運【健康運】疲労をため込みやすいかも。無理は禁物【幸運を呼ぶ食べ物】ナス

いて座 11/23~12/21

【全体運】思い通りにいかない事も多いけれど、不機嫌そうな表情はNG。笑顔が運氣好転の秘訣。お香も効果的【健康運】食生活の見直しをするとグッド【幸運を呼ぶ食べ物】サケ

やぎ座 12/22~1/19

【全体運】活動的になれるはず。やってみたい事に意欲的に取り組めば、好結果に。メールやネットにも注目して【健康運】ヨガをすると健康体に近づけそう【幸運を呼ぶ食べ物】オクラ

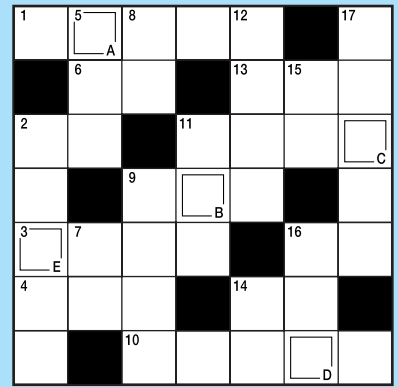
みずがめ座 1/20~2/18

【全体運】ネガティブに考え、トラブルメーカーになりそう。深呼吸で心を静めて。美味しいお水に凝るのも◎【健康運】静かな曲を聴いてストレス解消を【幸運を呼ぶ食べ物】サンマ

うお座 2/19~3/20

【全体運】気まぐれになりやすい暗示。手を広げず、一つに集中するのが賢明。余暇には芸術鑑賞が最適【健康運】スポーツの腕が上達しやすく楽しめそう【幸運を呼ぶ食べ物】ごま豆腐

# クロスワードパズル



## タテのかぎ

- ②髪をすっかり刈り込みました
- ⑤ピータンはこの鳥の卵で作ります
- ⑦表ではありません
- ⑧振り仮名のことで
- ⑨ゴボウの切り方の一つ
- ⑪人や車や高層ビルがたくさん
- ⑫トランプのQの札
- ⑭代金や料金はいりません
- ⑮地下茎はレンコンと呼ばれます
- ⑯暑さ寒さも\_\_\_まで
- ⑰健康診断で\_\_\_写真を撮影した

## ヨコのかぎ

- ①2人で同じ服装をすること
- ②正しい解答に付けるマーク
- ③9月1日は\_\_\_の日
- ④1853年、ペリーが来航した土地
- ⑥茶碗に\_\_\_が入っちゃった
- ⑨土壁やしっくいを塗る職人
- ⑩桃太郎が犬や猿に与えたもの
- ⑪軽く焼いた食パンのこと
- ⑬決められたことに背くこと
- ⑭たるやおけにはめます
- ⑯しとやかで\_\_\_の良い人物

## 6月号のこたえ

アマノガワ



応募総数通36通  
当選者5人の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。  
\*住所・氏名等の記入忘れがある場合は正解しても無効となりますのでご注意ください。



### ◇緑のカーテン◇

毎年緑のカーテンとしてゴーヤを育てています。ゴーヤを薄くスライスして、野菜のかき揚げに混ぜると苦みがありません。家族のみんなが食べてくれます。ちくわのスライスを混ぜると味が付いて弁当のおかずにもなりますよ。

(高津区・遠藤さん)

### ◇アジサイ◇

我が家の出窓から花壇が見え、今年は色とりどりのアジサイが咲いていて、私の目を楽しませてくれています。

(高津区・今村さん)

### ◇翌への思い◇

今年は今金環日食もあり、空や天体に思いを馳せる事もしばしば。七夕の時は、夢や幸福について考えるので、科学とは少し離れた部分でほのぼのとした気分になります。

(麻生区・飯草さん)

### ◇夏野菜◇

穫れたての夏野菜はとっても美味しいです。毎日食べて元気いっぱいです。

(宮前区・和田さん)

### ◇ピーマン◇

ピーマンが甘唐辛子とも言うなんてびっくりしました。次にお買い物に行く時は、ツヤがあり、重いピーマンを買いたいと思います。(川崎区・村谷さん)

### ◇これからの楽しみ◇

ただ今お家を新築中。少しだけ庭があるので、今からガーデニングや家庭菜園などができるかなと楽しみです。いつもご近所や田舎からもうばかりだったので。(高津区・ひーこさん)

### ◇浴衣◇

4歳の孫に浴衣を買いました。毎日着たり、だいぶヨレヨレに。お祭りの時には、どうなっていることやら。(多摩区・手塚さん)

(多摩区・手塚さん)

### ◇興味のあること◇

今料理に興味を持っています。新聞を見ていると全体を見ているつもりが、いつの間にか料理のところへ。だからスーパーから帰って来た時の自分は、何を作ろうかとルンルン気分。(高津区・及川さん)

### ◇家庭菜園◇

今年は、トマトを育てています。実にダメージが出たり、強風にやられたり。プロの方々の方々にうなる毎日です。

(麻生区・竹辺さん)

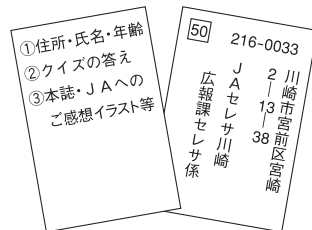
### ◇夏といえは…◇

夏は、バーベキューやビアガーデン、花火大会、夏祭りなど楽しい事が盛りだくさん。先日は、河川敷で今年初のバーベキ

## 応募方法

■このコーナーでは身近なできごと等、皆様からお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクイズにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方に図書カード1,000円をプレゼントします。送付方法は、郵送で、お名前(匿名の方はペンネームを添えて)、住所、電話番号、年齢を入れて右記まで送付してください。写真の掲載をご希望される方は、プリントを封書でご送付ください。※匿名を希望される場合は必ずペンネームをお書き添えください。個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。

◎締切 9月14日(金)必着



お寄せ頂いた  
ご感想、イラスト等  
は本誌で掲載する  
ことがあります。

### 9月の遺言信託（個別）相談会

・9月5日(水)菅支店、9月6日(木)生田支店、9月10日(月)宮前支店、9月11日(火)向丘支店、9月12日(水)橘支店、9月24日(月)みなみ支店  
 ・開催時間：9:00～16:00(昼1時間休憩)  
 ・相談員はJA神奈川県信連の財務コンサルタント  
 ・相談時間は原則1時間30分まで  
 ・ご相談無料・予約制・秘密厳守  
 ・ご予約は、相談会開催日の前々営業日16:00までに、お近くの支店まで。  
 ※開催日に都合がつかない場合、日程調整のうえ、お近くの支店で個別相談にも応じますので、お気軽にお問合せください。  
 ※JA神奈川県信連 信託代理店 JAセレサ川崎 本店 事業推進部 044-877-2140 当代理店が行う信託代理業務は契約締結の媒介です。

### 晴れの入賞者

#### 第15回JA夏季農産物品評会

7月8日 川崎アゼリア 出品数173点  
 ▽優秀賞＝トマト・市川完治(黒川)、ミニトマト・新堀智史(南加瀬)、ジャガイモ・関口博満(南生田)、トマト・松井秋彦(初山)、玉ネギ・成田茂(千年)  
 ▽優良賞＝枝豆・本多武司(上作延)、ジャガイモ・筒井京子(野川)、トウモロコシ・青山靖子(井田)、湘南レッド・成田憲一(千年)、トマト・森清行(久末)、ナス・山田悠二(白幡台)、トマト・松井秋彦(初山)、同・猿渡小一郎(菅)、ミニトマトと水ナスの2点・森修二(久末)、カボチャ・根笹忠夫(久末)、ピーマンとインゲン、キュウリの3点・関口アイ子(末長)、トマト・新堀智章(南加瀬)、タマネギ・石井竜也(久末)、ジャガイモ・関口悦子(南生田)  
 敬称略カッコは住所

ユーをしました。火をおこしたり片付けしたり…大変だけども楽しい1日でした。友人たちと一緒に夏を満喫して、暑い日も元気に過ごしたいと思います。  
 (高津区・アジサイさん)

### ◇バスツアー◇

バスツアーでセレスモスに初めて行って来ました。トマトや枝豆、豆腐、パン、切り花などあれこれ買いました。枝豆は豆類が大好きな孫たちに持って行き、みんなで食べました。

### ◇双子のナスが穫れた◇

(宮前区・島さん)  
 多摩区宿河原の河合亀蔵さん

の畑で、二つ繋がったナスが穫れ、近所で話題になったので、宿河原支店に展示しました。



### ◇ど根性キュウリ◇

多摩区登戸の田中謙次さんのキュウリ畑で、ラッカセイのように土の中に潜り込んだキュウリが見つかりました。

田中さんは「マルチの間で成長したキュウリは時々見るが、

土の中で成長したのは初めて」と話し、土の中で大きくなった「ど根性キュウリ」と名付けて、直売所のマスケットにして人気になっていました。



### ◇投稿のお礼◇

たくさんのお便りありがとうございました。これからもご感想お待ちしております。  
 (JA広報課)

## 組織 だより

### 小台支部（宮前地区）

組合員数は32世帯。宮前区小台1・2丁目と宮前平の一部が支部エリア。かつては田んぼや畑が広がり、竹の子の産地として知られていました。昭和40年に東急田園都市線が開通して宮前平駅ができる、都市化が急激に進み、農業から不動産管理へと暮らしも変わっていききました。少なくなりましたが、今でもビルの合間に農地が残り、果樹の栽培が行われています。



安藤征夫支部長は、支部の活性化に向け、東京スカイツリー見学会を計画中です。

※次回は五反田支部（生田地区）と多摩の会です。

### しあわせの会

会員数は190人。発足は中部地区の2級ホームヘルパー有資格者で組織され、助け合いの気持ちを大切に高齢者介護活動を続けてきました。現在は介護予防活動を中心に「セレスサロンたかつ」を年に10回開催。4地区で各2回づつ生きがい活動を展開、家庭介護の普及や楽しく健康で過ごせる生活支援を進め、会のシンボル4つ葉のクローバのように幸せを運んでいます。



今年度は規約を改正して、会員加入資格を緩和、会の活性化と充実をはかっています。

10日(月)	総代・組織リーダー研修会(14時～、本店セレスホール飛翔)
17日(月)	敬老の日
19日(水)	創立15周年記念式典(11時～、本店セレスホール飛翔)
22日(土)	秋分の日
26日(水)	創立15周年記念 感謝の集い〈中原地区〉 (11時～、15時10分～、川崎市教育文化会館)
27日(木)	創立15周年記念 感謝の集い〈向丘地区〉 (11時～、15時10分～、川崎市教育文化会館)
28日(金)	創立15周年記念 感謝の集い〈日吉地区〉 (11時～、15時10分～、川崎市教育文化会館)
※日程等は変更されることがあります	

## JAからのお知らせ

### ◇理事会だより◇

☆第4回定例理事会…7月17日(火)本店で開催【報告事項】「JAセレス川崎創立15周年記念感謝の集い」の開催について…10日間19公演で、第1部千昌夫・香西かおり・桜井くみ子による歌謡ショー、第2部ふれあい抽選会を実施。午前の部は11時より、午後の部は15時10分より川崎市教育文化会館にて開催。平成24年度第1回総代・組織リーダー研修会…9月10日(月)14時より本店セレスホール飛翔にて開催。二宮清純氏を講師に招き、「勝者の思考法」について講演を実施。「JAセレス川崎創立15周年記念式典」…9月19日(水)11時より本店セレスホール飛翔にて開催。川崎市梨・ぶどう品評会前期の部・後期の部の開催について…前期の部：8月22日(水)大型農産物直売所セレスサモスにて、後期の部：9月6日(木)川崎市農業技術支援センターにて実施。第8回生活文化活動体験発表会・家の光大会…8月27日(月)13時から16時まで本店セレスホール飛翔にて開催。他18項目を報告。【協議事項】第65回神奈川県農協大会…11月26日(月)13時よりパシフィコ横浜会議センターメインホールにて開催。他13項目を協議決定。

### セレスのDATA

貯金	1兆2,590億円
貸出金	4,965億円
長期共済保有高	1兆6,177億円
年金共済保有高	297億円
購買品供給高	3億58百万円
販売品取扱高	2億77百万円
施設事業契約高	30億51百万円
組合員数	56,596人
うち正組合員	5,890人
准組合員	50,706人
	(7月31日現在)

### 営業時間のご案内

☆支店窓口…平日9:00～15:00  
 ☆ATM…平日8:00～21:00、土日祝9:00～19:00、(セレスサモスは、営業時間内の稼働)  
 ☆経済センター店舗…平日・土日9:00～16:30(月末12:00)※祝日は休み  
 ☆セレスパーシモン…平日・土日9:00～16:30(月末15:00)※祝日は休み  
 ☆セレスサモス…4月～10月10:00～18:00(定休日：水曜・年末年始ほか)※節電対策により、営業時間が一部変更になっております。

### 9月の営農相談コーナー

☆JA経済センター(宮前区有馬2-13-1)…5日(水)、7日(金)、12日(水)、14日(金)、19日(水)、21日(金)、26日(水)、28日(金)  
 ☆セレスパーシモン(資材店舗：麻生区片平2-30-15)…4日(火)、6日(木)、11日(火)、13日(木)、18日(火)、20日(木)、25日(火)、27日(木)  
 時間：9:00～16:00  
 相談員：JAの営農技術顧問  
 その他：予約は不要です。

### 9月の経営相談日(法律)

4日(火) 9:30～11:30 向丘支店  
 13:30～15:30 中原支店  
 11日(火) 13:30～15:30 みなみ支店  
 13:30～15:30 生田支店  
 18日(火) 9:30～11:30 橘支店  
 13:30～15:30 中原支店  
 23日(日) 9:30～11:30 梶ヶ谷ビル  
 相談時間は原則30分程度。要予約。予約は相談日の前営業日16:00までに各会場支店の総合相談担当・梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで。予約のない方は、予約者の相談終了後となります。

### 9月の年金無料相談会

4日(火) 鹿島田支店  
 6日(木) 長沢支店  
 11日(火) 小杉支店  
 13日(木) 百合丘支店  
 20日(木) 日吉支店  
 23日(日) 向丘支店(※)  
 小田支店(※)  
 予約は開催支店まで。但し、※は事業推進部(TEL877-2140)まで。  
 ◇「年金・資産運用」セミナー◇  
 9日(日) 10:00～12:00 高津支店  
 14:00～16:00 向丘支店  
 参加ご希望の方は本店事業推進部までご連絡ください(予約優先)。  
 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

### 9月の休日住宅ローン相談会

9日(日) セレスサモス(※)  
 22日(土) 小向支店、中原支店、宿河原支店、宮崎支店、長沢支店、菅支店  
 23日(日) みなみ支店、野川支店、梶ヶ谷ビル(※)、栗平支店  
 時間は9:00～15:00(※は10:00～16:00)  
 各会場支店または下記ホームページからご予約できます。予約がない方はお待ちいただくことがございます。専用ホームページ(<http://www.jaceresa.jp/>)

### 9月のセレスサロン

5日(水) 10:00～15:00 高津支店  
 6日(木) 10:00～15:00 中原支店  
 19日(水) 10:00～15:00 新百合丘支店  
 利用料：1回800円  
 対象：おおむね60歳以上の方  
 ご参加の方は事前にご連絡をお願いします。お問い合わせ・お申し込みは本店生活福祉課まで。TEL877-2509

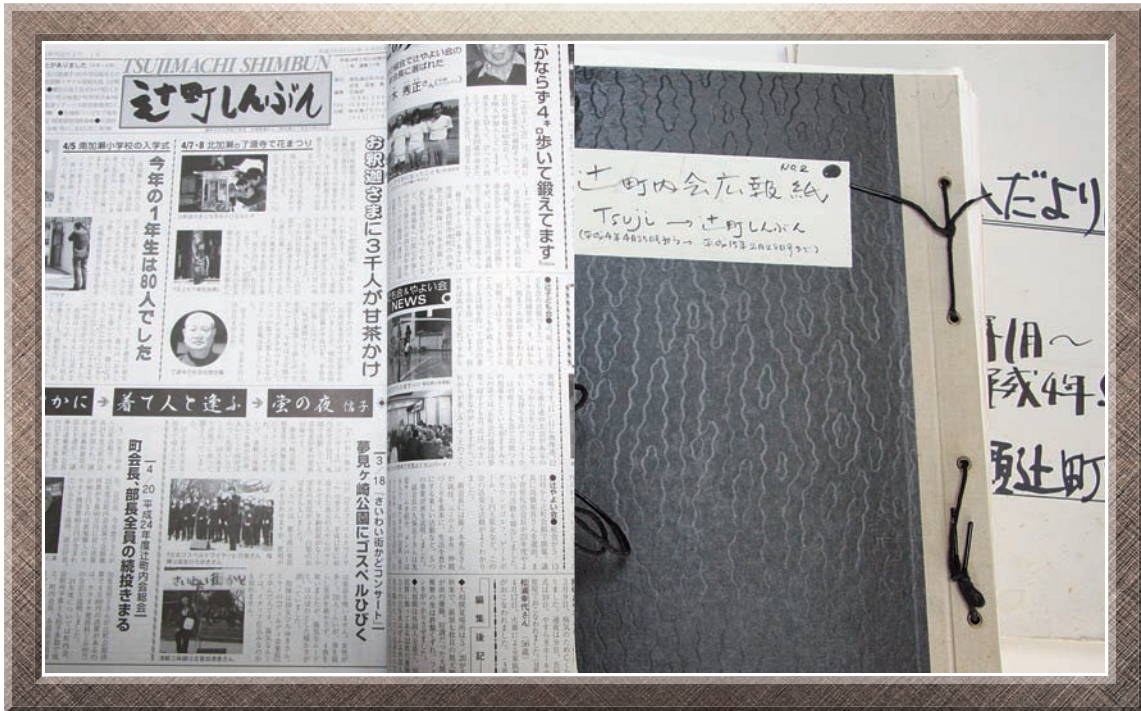
### セレスサービスのご案内

セレスサービス(株)はまごころを込めたご葬儀をご提案し、ご奉仕でお応えしています。当社は川崎市内で唯一のJAが100%出資している葬祭センターです。  
 危急のご連絡・ご相談は下記のフリーダイヤルまで。  
 フリーダイヤル みおくる こころ  
**0120-3096-56**  
 (24時間受付・年中無休)  
<http://www.ceresaservice.co.jp>

# お宝拝見

大切なモノ・ことば

## 町内会新聞



幸区南加瀬5丁目の辻町内会では、昭和58年より、町内会広報紙の「辻町しんぶん」を年4回発行しています。新堀さんは平成12年から現在まで、「辻町しんぶん」の取材と編集を一人で担当して来ました。

以前は週刊誌の編集長をしていたことから、「2代目の編集者として私に白羽の矢が立ったようですが、記事を探すのはなかなか大変ですよ」。担当してからレイアウトも刷新し、記事も面白いと評判になったことから、「辻町しんぶん」の名は各方面から話題として取り上げられるようになりました。「いずれ編集から外れる時も来るでしょうが、長年の愛着もあるので、もうひとがんばりしようと思っています」。



幸区南加瀬

新堀 安一さん

# Dish Up!

## 材料 (約4人分)

- ・春雨…約70g
- ・塩くらげ…50g
- ・キュウリ…1本
- ・ハム…5枚
- ・卵…1個
- ・トマト…1個
- ・醤油…大さじ2
- ・酢…大さじ1.5
- ・砂糖…少々
- ・塩…少々
- ・ごま油…大さじ1

タレ

## ワンポイント

麻生区岡上 山田文子 さん

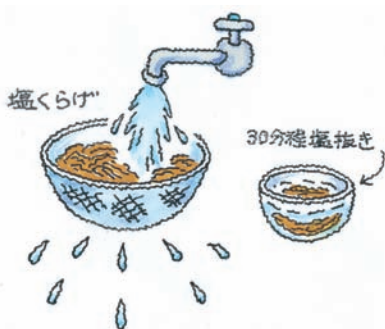
タレにラー油を入れるとピリッとして美味しいです。見た目の彩りも良く、さっぱりしているので夏にぴったりのサラダです。ぜひお試しください!!



## 春雨の中華サラダ

### 作り方

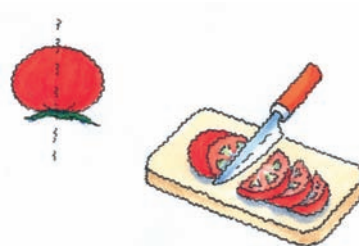
①春雨を沸騰させたお湯で2~3分茹で、芯がなくなったら水洗いし、水切りをする。(長い場合は、適当に半分くらいに切る)



②卵は薄焼き卵にし、塩くらげはよく水洗いして30分程度塩抜きの後、充分水切りをする。



③キュウリ、ハム、薄焼き卵は千切りにする。



④トマトは半分に切り、薄い半月切りにする。

⑤お皿に春雨を山高に置き、その上に塩くらげ、キュウリ、ハム、薄焼き卵を彩りよく並べ、まわりにトマトを飾る。



⑥タレを混ぜ合わせる。

※盛り付けた春雨サラダとタレは冷蔵庫で冷やし、食べる直前にタレをかけて召し上がってください。



2012 国際協同組合年

協同組合がよりよい社会を築きます